

# 議事録

作成日:平成30年2月22日

会議名	平成29年度 第3回学校協議会		
開催日時	平成30年2月22日	作成者	山本
出席者 (敬称略)	京都外国語大学教授 相川 真佐夫 高槻市立第二中学校長 北山 茂治 千里金蘭大学入学センター顧問 清水 信行 株式会社ベネッセコーポレーション 松原 良典 社会福祉法人照治会浦堂認定こども園副園長 濱崎 心子 芥川高等学校PTA会長 水野 忠夫  校長 河方 智基 教頭 坂口 光芳 事務長 原田 一浩 首席 大西 隆司、藤原 啓明 進路指導主事 大島 直子 事務局 中島 智秀、山本 大悟		

## 議事

1 校長挨拶

2 資料確認

3 協議

### (1) 学校の様子について 首席 藤原より

「芥川新聞」247号～250号の内容について紹介

- ・2年生修学旅行
- ・一年生職業別ガイダンス
- ・薬物乱用防止教室
- ・秋の自転車交通指導
- ・2年生防災・減災学習
- ・高槻支援学校との音楽交流会
- ・ビブリオバトル出場 ほか

### (2) 平成29年度学校経営計画にもとづく取り組みの学校による自己評価について

校長 河方より

#### 学力の向上

学校教育自己診断における授業への肯定率は昨年対比で下がったが、授業満足度は昨年対比で増。

#### 希望進路の実現

学校教育自己診断における進路指導への満足度が約88%は良い評価であった。

#### 使える英語力と国際感覚の育成

グローバルコースの授業アンケート満足度は上昇、コース選択生徒意識のアンケート結果報告。英検受検者数は昨年度より増。

#### 体験学習の充実、学校行事・部活動の信振興

体育祭・文化祭の来場者数は昨年度より大幅増。新入生部活動加入率は昨年度並み。

#### 規範意識の醸成

懲戒件数等の報告

#### 人権意識の向上

学校教育自己診断における人権教育への生徒の肯定率は昨年度より減。

#### 教員力の向上

学校教育自己診断における教員の協力体制に対する肯定率は昨年度より増。

#### 情報発信力の向上

オープンスクール・学校説明会の参加者数は昨年度より15%増。

質疑応答

Q 生徒の授業への肯定率について、今年は下がっているが、学年別の違いや年度により変化はあるか。

A 今年度の学年別の肯定率を見ると学年が上がるごとに肯定率は上昇している。

Q 懲戒の内容について

A SNSの不適切な利用と考査時の不正行為がほとんどである。不正行為については故意によるものより不注意によるものが多い。

委員より意見

- ・推薦入試の合格率は高いと思う。英語力については、これからの四技能重視の入試改革に向けて、グローバルコースの取り組みを学校全体の取り組みにしてはどうか。
- ・不正行為による懲戒は厳しすぎるような気がする。

### (3) 本校生の進路状況および進路指導部の取り組み 等 進路指導主事 大島より

推薦入試等合否状況報告

- ・医療、看護学科の志望者が多い。  
近年は専門学校よりも大学の看護学部進学を目指す生徒が増えている。
- ・人文系が少なく、経済系へ進む生徒が多い。
- ・短大の受験者が昨年度より増加した。

- ・現三年生は、受験対策に取り組む時期がやや遅かったような気がする。  
そのため、一般入試で苦戦するかもしれない。

#### 1、2年生に対する進路指導部の取り組み

- ・職業別ガイダンスについて報告
- ・冬休みの課題 職業インタビューについて報告 本校卒業生中心に12の職業分野ガイダンス
- ・2年生進路別ガイダンス 本校教員によりガイダンス 担当教員も研究して臨んでいる。

委員より

- ・自分の進路に向けて考え始めているわが子を見て、刺激をあたえてくれる進路指導はありがたい。
- ・保育の分野を目指す生徒は一部だが、将来親になる生徒も多いので保育実習は貴重な機会だと思う。進路に対する考え方も学年によって特徴があるだろうから、先生方も模索しながらそれぞれに対応していると思う。
- ・職業ガイダンスの取り組みは素晴らしい。1年生からこのような取り組みをしている学校はあまりないと思う。
- ・近畿圏の高校生の進路についての悩みのアンケートによると一番多い項目は、自分の進路について相談できる人がいないということ。そのため、希望進路を決めるまでに時間のかかる生徒が増えている。
- ・中学生に対しては、高校を選ぶときは高校に入って何がしたいかを考えるように、保護者と一緒に学校を自分の目で見て選ぶように指導している。  
芥川高校を希望する生徒は入りたい部活動がある、校風が気に入ったという生徒が多い。部活動加入率が高いことも魅力であると思う。勉強があまり好きでない生徒にとって部活動をする意義は大きいと思う。

### (4) 平成29年度 授業アンケート報告 教頭 坂口より

第1回(7月実施)と第2回(12月実施)の結果報告

ほとんどの教科で第1回より第2回の平均値が上がっているのは授業改善に取り組んでくれた成果だと分析している。

### (5) 平成29年度 学校教育自己診断報告 首席 藤原より

質疑応答

Q 結果はどのように生徒・保護者にフィードバックするのか。

A 協力への御礼と学校が分析および課題として受け止めていることを保護者宛文書で返す予定である。

Q 自由記述によると校内で盗難があるのか。

A 残念ながら、年に数回発生している。生徒には自己管理の徹底を呼びかけるとともに無人の教室の施錠も行っている。発生した場合には、注意喚起を行っている。

委員より

- ・自由記述には、部活動についての保護者から要望がかなり見られる。先生たちも熱心に

指導してくれているようなので全ての要望に応えられなくてもしかたがないと思う。

・先生方も無理せず、長時間労働にならないように頑張ってもらいたい。中学校でもノークラブデーを設け、月1回は土日に部活動を休みにしている。外部委託の計画もあるが実現は困難だと思う。

#### (6) 平成30年度学校経営計画案について 校長 河方より

授業力向上への組織的な取り組み、3年間の高校生活の見える化、「働き方改革」としての業務の見直しなどに取り組みたい。

質疑応答

Q 教育相談の充実も重点目標に入れているが、スクールカウンセラーの配置はあるか。

A 府から月に1回派遣してもらおうとともに、学校独自でPTAからの支援によりスクールカウンセラーに来てもらっている。

#### (7) 校則および生徒指導方針について 教頭 坂口より

生徒指導部指導方針及び生徒手帳に掲載している校則を提示

生徒代表として生徒会執行部の生徒に意見を聞いたが特に改善への要望はなかったことを報告。

質疑応答

Q 学校教育自己診断に校則が厳しすぎるという意見も見られるがどのあたりを厳しいと思っているのだろうか。

A 携帯電話等の指導については厳しいという声は聞くが、放課後の使用は認めるなど以前よりはゆるやかになっている。

#### (8) 保護者からの意見書について 教頭 坂口より

2年生の保護者(匿名)から修学旅行についての意見があったので紹介。

修学旅行の行先選定経過、生徒アンケート結果などを報告。

委員より

・行先選定経過は理解できた。修学旅行については、これからも保護者の理解を求めるように丁寧に説明してほしい。

### 4 校長謝辞

### 5 連絡

・ 学校運営協議会について

次年度より学校運営協議会となる。学校運営の基本方針を承認することと、教員の任用について意見を言うことができるようになる。

・ 次年度委員委嘱について

委嘱については校長から連絡させていただく。

・ 議事録の公開について

委員の承認を得た後、ホームページで公開する。